
nine drops

yukilink

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

nine drops

【ZPDF】

N1130D

【作者名】

yukilink

【あらすじ】

オイオイ・・（；、）ノ起きたらベッドに知らない男つて！

?おなじみの展開から始まってしまった男とミシコの恋の行く末は?
?

ありえない感触

眩しい。

目を閉じていても突き刺すような強い光。

つか……超頭痛い。

ガンガン割れそうな頭がゆる~く動き始めた。

携帯……たしかこの辺に置いたよくな……。

「うわ！」思わず声をあげてしまった。

サラッとしたありえない感触に指先が触れたからだ。

「んう~」

ありえない感触が小さくづめいたと思つたら、後ろからせふるようになたしの体を抱き寄せた。

やつちやつた……。やつたか？ いや、やつてないかも。

脳ミソをほじくつ記憶の欠片をひとつひとつ拾いにいった。

居酒屋、バー、クラブ、カラオケ。

クラブ以降の欠片は頭のどこをつついでても、すべて拾い集めることができなかつた。

とりあえず、ここが自分のマンションだつてことは確かだ。

抱きしめられたまま顔だけをゆづくと動かし恐る恐る振り返ると

ありえない感触と思われる寝顔がそこにはあった。

けつこうかわいい顔してんじやん……。

いた！

確かにいた。

欠片が一個見つかった。

カラオケにいたわ。

名前なんだつたつけ？

寝顔をじっと見つめたまま他の欠片を探しに記憶の糸をたどってみても割れそうな頭じゃこれ以上思い出せない。

それにしてもキレイな顔してる。

「おはよう」

いきなり開いた瞳に思わず目を凝らし、クルッと背を向けると背中から抱きしめてくる腕があたしの洋服をゆっくりとあげ、忍び込んできた。

「うよとお、やめてよ」

起き上がるつとむと、全身の倦怠感とともにじみ上げるものがある。

ダッシュでトイレに駆け込み便座をあげてまづは朝一のお約束。いや、もう過ぎいか。

「うつて便器に向かって反響するの何回目だのう。……。

自己嫌悪にやくなまれながら、直捷トペーパーで口をぬぐつた。

流れ終わつたトイレを覗き込むと毛穴全開髪ボサボサテカリまくりの顔がいる。

どんなに飲んで帰つても風呂だけは入ること、ビタヤラ着替えしないで寝たらしい。早く風呂入りたい。

それより、アイツをビタヤラして帰そつか。
名前もわからんし。

「俺、バイトだからー。」「ちゃんと帰つまーす」

いきなり聞こえたドア越しのアイツの声に「あ、おつかれさまー」なんてへんな返事をしてしまつた。

ドアの音を確認してから即効風呂に入つ倒れこむかしへ落ちた。

ありえない感触（後書き）

最後まで田を通していただけてありがとうございました。
とうとう連載にも手を出してしまった（；、A、
しかもありがちなパターンだったかしら？
感想などよろしくお願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1130d/>

nine drops

2010年12月17日14時55分発行